

## 障害プロジェクト 第4回委員会議事録

実施日時：平成22年2月15日 月曜日 16時00分～17時00分

実施場所：くまもと県民交流会館パレア 9階 会議室1

参加人数：委員5名 / 和田 要、天田城介、岡田稔久、柳田紀代子（補佐1名 / 古城和哉）  
欠席2名 / 小笠原嘉祐、有働義信  
事務局2名 / 中山泰男、面高しおり

### 1)【会議項目】

第1号議案 第3回委員会の報告

第2号議案 本日のセミナーへの感想(今後の課題整理)

第3号議案 最終報告書の構成、及び、委員への原稿依頼について

第4号議案 今後の予定（次回の開催について）

### 2)【検討議題】

第1号議案 第3回委員会の報告

中山事務局員より、これまでの第1回から第3回委員会までの議事録が配布され、これを基に説明が行われた。特に意義なく参加者全員で承認した。

第2号議案 本日のセミナーへ感想（今後の課題整理）

和田委員長より、各委員から本日の感想を頂きたいとの提案がなされた。

以下、委員の発言を記載する。

柳田委員：多くの来場がありビックリ。とても関心が高い事業であったことを再確認しました。また、今回のセミナーで当事者やまたその家族の意見も聞く事が出来てとてもよかったので、今後の県の施策にも活かせればと思いました。

古城補佐：企業も当事者も最初の一步が大事だと思いますが、その一步を誰が後押しするのか、そこも今後考えて行かなければならない課題だと思います。

天田委員：本日は発言者として参加させて頂きましたが、「その他障害者」については制度の谷間にあって、何らの制度が必要であることは確かです。そういう意味において貴重なセミナーであったと思います。

岡田委員：診断によって自分の障害が分かり、周りからの理解も得る事ができるが、だからといって診断がなければ就労できないのはおかしい事だと思います。

中山事務局員：心が一杯です。今回のセミナーを踏まえて、もっと整理して報告書にまとめたいと思います。

面高事務局員：今回一番近くでアンケート集計や訪問調査に携わりました。企業が積極的に障害者雇用を進めていくのはもちろんですが、当事者自身も障害を悲観的にとらえるのではなく、もっと積極的に行動する事で更に雇用の場が広がるのではないかと思います。

第3号議案 最終報告書について・報告書への原稿依頼について

中山事務局員より、たたき台となる資料に基づき報告書の全体構成について説明が行われた。また、今後の事務作業として、早急にデータの整理・分析、テープ起こし等を行い、各委員には、発

言された箇所の校正をお願いすると共にA4に半ページから1ページ程度の感想文を3月10日までの提出として了承を得た。

岡田委員から、感想文ではなく「調査への考察」にしてはどの意見が出され、書く内容については各委員の方にお任せするという事になった。

また、「その他の障害」を扱ったドラマ欄に知的障害者を扱ったドラマが入っていた。事務局は分かってないと捉えられると良くありませんから修正をお願いしたいとの意見があった。

赤山事務局員から、もう一度見直して整理するとの回答がなされた。

#### 第4号議案 次回の委員会開催について

- ・ 次回は3月17日(水)の13時半より、おーさあの喫茶ルームにて開催することとする。

#### 3)【その他の事項】

和田委員長より、その他の事項として意見がないか会場全員に促された。

天田委員から、今回参加して頂いた方にアンケートをお送りし、意見をまとめて報告書につけるといのはいかがでかとの提案が出された。

中山事務局員より、前向きに検討いたしますとの回答がなされた。

以上をもって第4回委員会を終了する。

【記録者 面高しおり】